



## 平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月9日

上場会社名 パーチャレクス・ホールディングス株式会社  
 コード番号 6193 URL <http://www.vx-holdings.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 丸山 栄樹

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長 (氏名) 黒田 勝

TEL 03-3578-5300

四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	4,036	40.9	20		24		35	
29年3月期第3四半期	2,865	1.5	64	59.0	62	59.0	40	65.0

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 34百万円 ( %) 29年3月期第3四半期 39百万円 ( 65.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	11.97	
29年3月期第3四半期	14.20	13.98

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	2,194	941	42.9
29年3月期	2,798	975	34.9

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 941百万円 29年3月期 975百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		0.00	0.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,600	25.9	135	40.4	130	41.8	71	41.3	24.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

なお、当第3四半期連結会計期間より、持株会社体制に移行したことに伴い、会社分割により設立したバーチャレクス・コンサルルティング株式会社を連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	2,937,953 株	29年3月期	2,937,953 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

30年3月期3Q	株	29年3月期	株
----------	---	--------	---

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	2,937,953 株	29年3月期3Q	2,829,218 株
----------	-------------	----------	-------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間において、当社は、平成29年10月2日付で持株会社体制へ移行し、同日付で商号を「バーチャレクス・ホールディングス株式会社」に変更いたしました。また、当社のグループ会社の経営管理事業を除く一切の事業を新設分割会社のバーチャレクス・コンサルティング株式会社に継承し、当社は持株会社としてグループ会社の経営管理を行う事業を担うこととなりました。当第3四半期連結会計期間より、持株会社体制移行に伴い会社分割により設立したバーチャレクス・コンサルティング株式会社を連結の範囲に含めております。

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善に加え、個人消費におきましても、雇用・所得環境を背景に緩やかな回復基調が続きました。一方、世界経済は米国や欧州では緩やかな景気拡大が続きましたが、米政権の政策動向や北朝鮮情勢の緊迫化など海外政治経済情勢の不確実性の高まりにより、今後のわが国経済への影響も懸念されております。

このような状況の下、当社グループはクライアント企業がより戦略的で有効な顧客接点（チャンネル）を構築し、企業価値を最大化しうる顧客対応が実現できるよう当社の持つコンサルティング、IT、アウトソーシングのノウハウを活用したトータルな支援を行ってきました。

その結果、当3四半期連結累計期間の業績は、売上高4,036,087千円（前年同四半期比40.9%増加）、営業損失20,700千円（前年同四半期は営業利益64,563千円）、経常損失24,937千円（前年同四半期は経常利益62,384千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失35,166千円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益40,174千円）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりです。

IT&コンサルティング事業では、平成29年2月に子会社化した株式会社タイムインターメディアの売上分が増加し、新規でブロックチェーン案件も獲得するなど順調に推移しました。一方、利益面では株式会社タイムインターメディアの販管費分が増加したことやプロジェクト利益率の低下などがありました。その結果売上高は2,193,397千円（前年同四半期比80.1%増加）、セグメント利益は255,541千円（前年同四半期比19.5%減少）となりました。

アウトソーシング事業では、既存顧客案件および新規案件ともに堅調に推移しており、売上高は1,842,689千円（前年同四半期比11.8%増加）、セグメント利益は312,749千円（前年同四半期比6.6%増加）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ603,500千円減少し、2,194,641千円となりました。これは主に、現金及び預金が666,426千円減少したことによるものであります。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ569,481千円減少し、1,253,412千円となりました。これは主に、長期借入金（1年以内返済予定長期借入金を含む）が224,161千円、短期借入金119,721千円、買掛金116,965千円が減少したことによるものです。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ34,019千円減少し、941,229千円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失35,166千円を計上したことによるものです。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成29年5月12日の「平成29年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,069,854	403,428
売掛金	671,779	631,190
開発事業未収入金	37,468	101,176
仕掛品	76,033	47,125
前払費用	52,038	57,696
繰延税金資産	79,560	83,970
その他	2,403	50,528
貸倒引当金	△1,003	△861
流動資産合計	1,988,134	1,374,256
固定資産		
有形固定資産	100,525	91,671
無形固定資産		
ソフトウェア	193,519	185,953
のれん	283,536	261,910
その他	38,446	49,676
無形固定資産合計	515,502	497,541
投資その他の資産	193,978	231,172
固定資産合計	810,006	820,385
資産合計	2,798,141	2,194,641
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	235,214	118,248
短期借入金	249,721	130,000
1年内返済予定の長期借入金	252,830	120,368
未払金	282,756	194,201
未払法人税等	27,826	6,315
賞与引当金	119,630	76,509
その他	202,603	247,118
流動負債合計	1,370,581	892,760
固定負債		
長期借入金	440,551	348,852
その他	11,760	11,799
固定負債合計	452,311	360,651
負債合計	1,822,893	1,253,412

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	597,029	597,029
資本剰余金	535,699	300,583
利益剰余金	△157,730	42,218
株主資本合計	974,998	939,831
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	249	1,397
その他の包括利益累計額合計	249	1,397
純資産合計	975,248	941,229
負債純資産合計	2,798,141	2,194,641

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	2,865,510	4,036,087
売上原価	2,223,742	3,179,448
売上総利益	641,767	856,638
販売費及び一般管理費	577,204	877,339
営業利益又は営業損失(△)	64,563	△20,700
営業外収益		
受取利息及び配当金	6	64
助成金収入	—	3,934
その他	554	—
営業外収益合計	561	3,998
営業外費用		
支払利息	1,031	5,399
株式交付費	781	—
支払手数料	745	2,519
その他	181	316
営業外費用合計	2,740	8,235
経常利益又は経常損失(△)	62,384	△24,937
特別損失		
固定資産除却損	—	210
特別損失合計	—	210
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	62,384	△25,147
法人税等	22,209	10,018
四半期純利益又は四半期純損失(△)	40,174	△35,166
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	40,174	△35,166

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	40,174	△35,166
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△314	1,147
その他の包括利益合計	△314	1,147
四半期包括利益	39,860	△34,019
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	39,860	△34,019
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	IT&コンサルティング事業	アウトソーシング事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	1,217,938	1,647,571	2,865,510	2,865,510
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	1,217,938	1,647,571	2,865,510	2,865,510
セグメント利益	317,520	293,253	610,774	610,774

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	610,774
全社費用(注)	△546,210
四半期連結損益計算書の営業利益	64,563

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	IT&コンサルティング事業	アウトソーシング事業	計	
売上高				
外部顧客への売上高	2,193,397	1,842,689	4,036,087	4,036,087
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—
計	2,193,397	1,842,689	4,036,087	4,036,087
セグメント利益	255,541	312,749	568,290	568,290

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	568,290
全社費用(注)	△588,991
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△20,700

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。